



Title	巻頭の辞
Author(s)	赤井, 伸郎
Citation	国際公共政策研究. 2022, 26(2)
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/86841">https://hdl.handle.net/11094/86841</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 卷頭の辞

本号（第26巻第2号）は、査読プロセスを経て受諾された論文5編を掲載しています。また、本研究科准教授にご在職中の2020年7月15日に逝去された松本充郎先生を偲び、国際公共政策研究科関係者より先生のご貢献やご指導に対する心からの感謝と惜別の思いを込めた松本充郎准教授追悼特集を組みました。そのような特別の内容をもつものとして本号を刊行する運びとなりました。

松本先生は、高知大学准教授を経て2012年に大阪大学大学院国際公共政策研究科に准教授として着任されました。環境法・行政法をご専門とし、水にかかわる環境問題をテーマとする国際共同研究にアメリカや台湾を拠点とする研究者のかたがたとともに力を注いでこられました。ご略歴と業績に関しては、179ページからの「松本充郎准教授略歴および研究業績等一覧」をご覧いただきたいと思いますが、研究・教育・社会活動と幅広い分野でご活躍され、かつ、その内容は今も高く評価されています。研究への真摯な態度は、お亡くなりになる直前まで、論文の執筆に取り組んでおられたことからもうかがうことができます。永眠されたあと、ご親族のかたがたなどのご尽力により『日米の流域管理法制における持続可能性への挑戦—日米水法の比較法的研究—』（ナカニシヤ出版、2021年）が、単著として出版されました。

本号には、松本先生の絶筆となった論文「カリフォルニア州における持続可能な地下水管理法の現状と課題」に、本研究科の大久保邦彦先生による解説を付けて掲載しています。松本先生の最後の論文を本誌が掲載することにご承諾いただきましたご親族と学会関係者に対し、お札を申し上げたいと思います。

追悼特集では、そのほか、本研究科法律系教員による論文2編と、松本先生が指導され国際法の研究者として活躍されている鳥谷部壌先生からも論文をご寄稿いただき、追悼論文を計3編掲載しています。

さらに、2020年8月24日に研究科主催で開催した「松本充郎先生を偲ぶ会」にご出席くださった参加者の皆さまから、松本先生との思い出やメッセージをお寄せいただき、「松本先生との思い出—松本充郎先生への追悼メッセージ集—」というタイトルにして編んでいます。松本先生が在外研究で過ごされたUniversity of California, BerkeleyのAntonio Rossmann教授やDaniel Farber教授、国内外の共同研究者の方々、指導してこられた学生さんたち、松本先生の同僚である大阪大学の教職員らのメッセージを読むと、松本先生がたくさんの方から愛され、いかに誠実なお人柄の方であったかがわかります。

大阪大学国際公共政策学会は、松本充郎先生のあまりにも早すぎる死を悼み、3編の追悼論文を含む追悼特集を発行することで、謹んで哀悼の意を表したいと思います。

2022年3月

大阪大学国際公共政策学会長  
赤井 伸郎